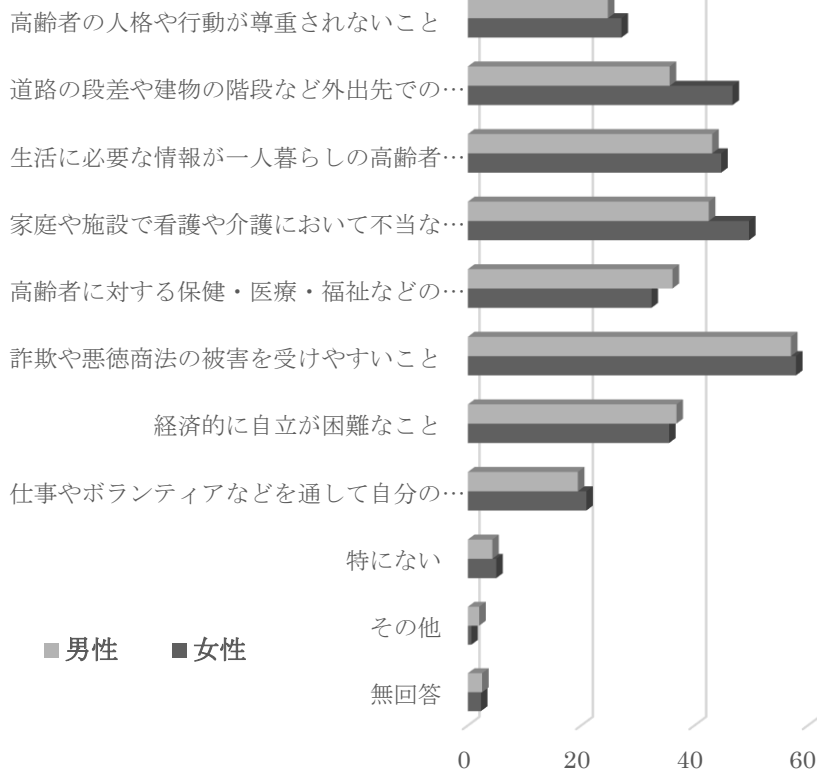


## 高齢者の人権

高齢者の人権で問題があると思うこと（複数回答）



高齢者への身体・精神面や財産面での権利侵害についてが多いようです。



多かったのは「詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと」と回答した人が57.5%、「家庭や施設での看護や介護において不当な扱いや虐待を受けること（放任や無視を含む）」が46.6%、「生活に必要な情報が一人暮らしの高齢者に伝わりにくいこと」が44.1%でした。

誰でも年齢を重ねれば、身体面や精神面で衰えが生じることは避けられません。しかし、私たちはそのことで高齢者を疎外したり、べっ視したりしていないでしょうか。こうした高齢者の尊厳を軽視する態度が高齢者虐待につながります。

高齢者にもっと感謝の気持ちをもたないといけない。



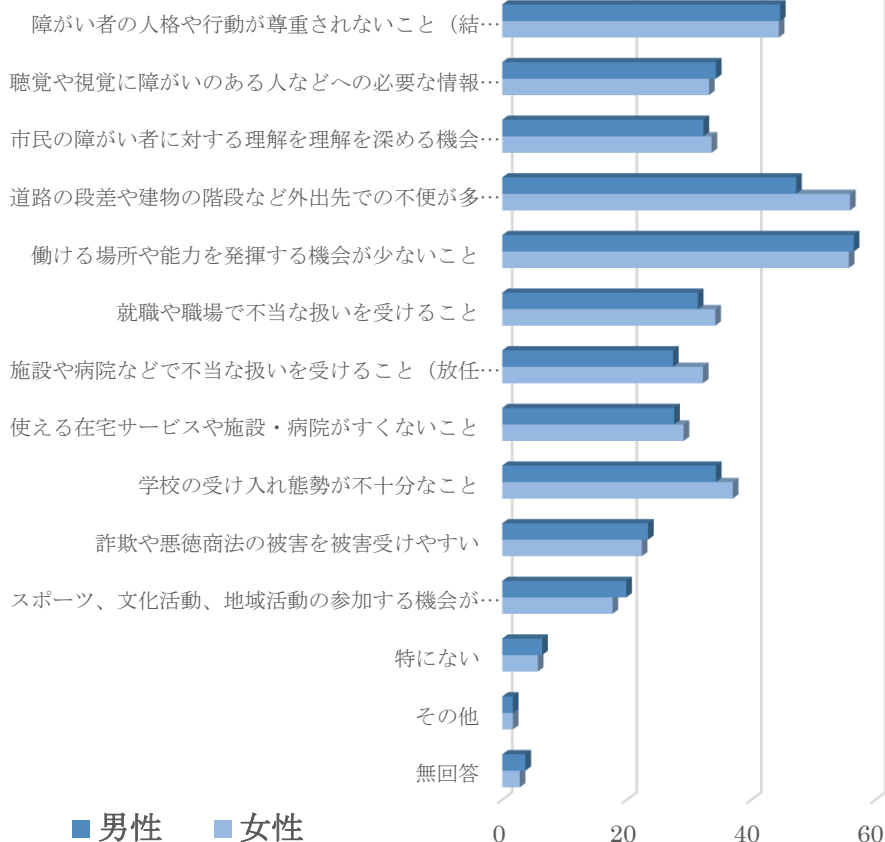
最近高齢者を狙った事件が多いため、親も心配。

最近では悪徳商法や振り込め詐欺などの高齢者を狙った事件が多発しています。これは、高齢者の一人暮らしや夫婦だけの世帯が増えていることなどの生活環境の変化のほか、高齢者に対する尊敬の念や感謝の気持ちが希薄になったことも原因があると思われます。

豊かな気持ちで幸せに生活したいのは、年齢に関係なく誰もが望むことです。しかし「いい年をして」「もう年なんだから」といった年齢だけを理由に社会参加を妨げることは人権侵害です。これまで果たして来た社会的役割の重要性や、肉体的・精神的な衰えなどを正しく理解・認識することが必要です。高齢者も社会を構成するメンバーです。それぞれの個性や能力が尊重され、高齢者が自立して生きることができる社会を実現することが求められます。

障がい者の人権で問題があると思うこと（複数回答）

障がいのある人とない人が、ともに安心して生活できる社会づくりが重要ですね。



多かったのは「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」と回答した人が55.9%、「道路の段差や建物の段階など外出先での不便が多いこと」が52.3%、「障がい者の人格や行動が尊重されないこと（結婚、就職に際して周囲の反対など）が44.4%でした。

障がいの有無にかかわらず、家庭、地域職場、学校などで、ともに安心して日常生活を送り、社会参加と自己実現を図ることができ、幸福な人生を目指して暮らすことのできる共生社会を目指す考え方を「ノーマライゼーション」といいます。

お互いに尊重し、支え合うことですね。



施設面もだけでなく、心のバリアを取り除くことが大切ね。

ノーマライゼーションを実現するためには、取り除かなければならない障壁（バリア）があります。段差やエレベーターがない建物、目や耳が不自由な方へ情報が届かないこと、障がいのある人への偏見や無理解・無関心などです。このバリアをなくすことを「バリアフリー」といい、障がい者だけでなく、高齢者や子どもなどにも生活しやすい環境を実現することが必要です。



障がいのある人とない人がともに生きる真のバリアフリー社会をめざすには、私たち一人ひとりが心の中にあるバリアを取り除くことが大切です。思いやりや配慮、勇気ある行為こそがバリアフリーの第1歩です。